



武雄市立西川登小学校

『校訓』 たくましく・やさしく・たくましく

学校だより **西っ子**
Try&Error&Cheer

9号 令和6年6月17日

文責:校長 小川 修

小学校最後の修学旅行

平和・歴史を学ぶ

責任・正しい行動

友情を深める

「どこに行こうか!」「どうやって行こうか?」「何を食べようか!」
と、5月から総合的な学習で修学旅行という題材で学びを深めて準備を進めてきました…

「長崎って?」…イメージは、カステラ(当然の反応)、戦争・原爆(そうそう)、観光地(中華街とか)。子ども達の「今持っている知識」を確認し、それから徐々に修学旅行の目的にふれさせていく準備をしてきました。しかしながら、難しかったのはまだ社会科の歴史を学んでいないため、戦争や平和の事実や願いを確かめに行くというよりは、気づきに行くという段階であったことです。1日目に原爆体験をされた方の講話を聴きましたが、教科書では学べない内容を聞いたり、資料を見たりすることができたことは今後の勉強に役立つと思います。

もう一つの目標は、自分たちで計画する力、最後まで諦めずに行動する力、協力する力を身につけることでした。教室の段階からグループで協力し、カバーし合っている姿があり、旅行本番でも計画を修正しながら取り組んでいる姿がたくさん見られました。ある子どもが、「友達の別の面(いいところ)が見られて良かった」という意味の感想を言ってくれました。

これまでの学びをしっかり自覚し、これからの生活に活かしてほしいと思います。

修学旅行アラカルト

出発前



武雄駅から新幹線で長崎へ!

1日目



平和公園下の防空壕跡



浦上天主堂



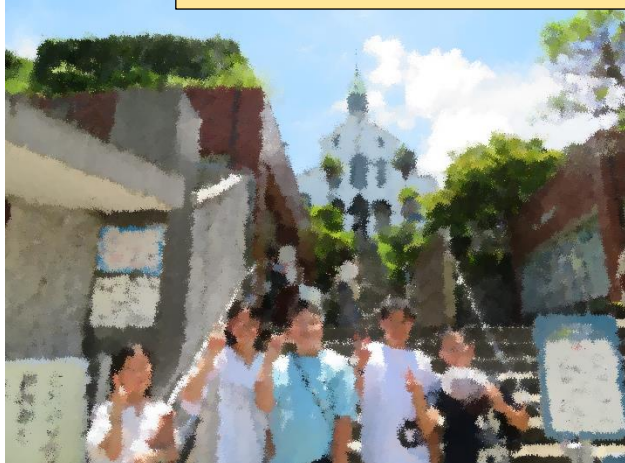
一本柱鳥居



眼鏡橋でのチリンチリンアイス



坂本龍馬ゆかりの亀山社中記念館



大浦天主堂



長崎駅

7月11日(木)は「ふれあい道德」授業参観日です

【特別の教科 道德】

自分を見つめ、どのような生き方をしていけばよいのか自問自答することは、自分の人生をより豊かにするために必要なことです。学校においては、教室で同世代の友達と一緒に過ごし、休み時間や特別に組まれた教育課程においては異学年と行動を共にします。

そこで！ 大切になってくるのが「人とどのように関わるか」です。その力を育てるうえで重要になるのがコミュニケーション力。自分の気持ちや伝えたいことをどうにかして相手に伝えようとする練習が大切になってきます。

「道德」という特別な教科の学習時間において、様々な場面設定の中で自分を見つめ、自分の考えを持ち、それを友達と意見交換する。その積み重ねの上に「規範意識」や「モラル意識」「生命尊重」などが育てられていきます。『道德』という学びは決して一般的に正しいとされる答えを確認する時間ではないのです。

ご家庭でもお子さんと話をするときや、何かしらの良くない行動が見られたときに大人の価値判断で「正しさ」を押し付けるのではなく、まずは、子どもの言い分を聞いてあげてください。その余裕を持ってください。その後で、ダメなものは『ダメ！』と言っても遅くはないでしょう。

